

あのとぎの常呂・写真館

VOL 196

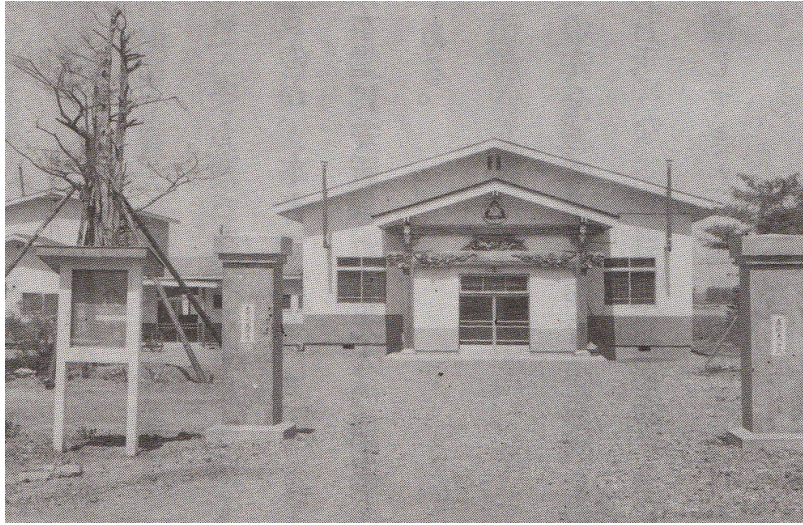
(2000年)

平成12年11月30日

高德寺本堂・庫裡修復工事完成

▶高德寺の始まりは明治42年。上川沿東1線13号付近に設置された説教所が東本願寺の許可を得、真宗大谷派寺院としてスタートします。●その後、大正11年8月23日の大洪水で本堂が流失の難に遭い、その年の秋には流失を免れた庫裏の一部10坪程度を本堂として、西川沿西2線（現在の富丘）の齊藤農場の一角に移転します。ここから約50年間は高德寺の富丘時代です。大正13年に45坪の仮堂を建立、昭和5年6月には寺号公称の法的条件であった高棟の本堂落慶、翌6年9月に本山許可、11月24日に地方庁認可を受け、「高德寺」を公称します。●戦後、高德寺周辺の道路事情の変化、庫裏の老朽化・本堂の根本的改修の必要から昭和46年の門徒総会の結果、豊川への本堂移転・庫裏新築を決定し、昭和46年9月5日、本堂移改築・庫裏新築・本尊空殿・仏具一式等が整い、入仏落慶法要を行います。（『豊川区開基百年記念誌 ふるさと』『富丘百年史 拓頌』から引用）●それから30年を経て、平成12年11月30日、高棟の本堂を再建し、新しい庫裏の建立工事が完成し、翌13年8月に落慶法要を行い、現在に至ります。





*左：昭和46年、豊川移転後の高德寺

*下：昭和5年建立の富丘時代の高德寺

